

リージョonz株式会社は『北海道 UI ターン白書 2025』を発表します

ー 採用難のいま、40 代・ハイクラス人材が北海道へ動き始めている ー

UI ターン転職支援に特化した人材紹介会社 リージョonz株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：高岡 幸生）は、北海道への UI ターン転職の実態をまとめた『北海道 UI ターン白書 2025』を発表します。

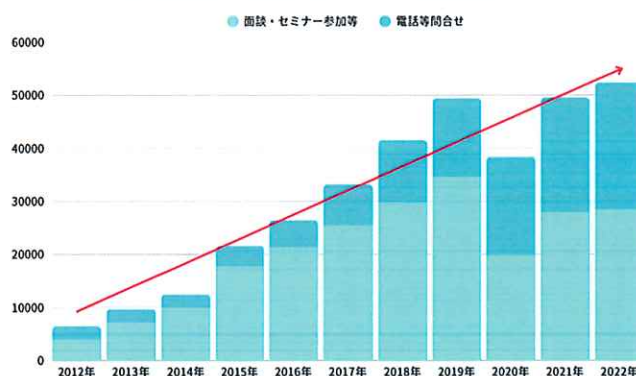
人口減少と都市部への人材集中が進む中、北海道企業の採用は年々難易度を増しています。

一方で、産業構造の変化やフルリモートなどによる居住地の自由化、暮らしや働き方に対する価値観の変化を背景に、北海道での暮らしや働き方に関心を持つ UI ターン希望者は増加しています。

全国のUIターン希望者は増加傾向

全国的には移住やUターンをしたい人は増加している。ノースシフトで述べた移住支援制度の拡充や居住地の自由化という社会環境の変化は全国的にも影響として表れている。

移住相談件数（認定NPO法人ふるさと回帰支援センター）



出典：国土交通省 地方移住に関する調査「移住相談・問い合わせ数推移」

北海道へUターンした人は増加していない

全国のUターン希望者は増加しているが、北海道への転入数はほとんど変化がない。いつか北海道へUターン・移住したいという希望者は増加しているが、実現できていない人が多い。ノースシフトによる追い風は吹いているが、それと同時にUターンを実現できない要因が存在していると考えられる。



出典：北海道人口ビジョン(改訂版)のオープンデータ「転入数の推移(北海道)」

30代からのUターン転職は
REGIONAL CAREER 北海道

本白書では、そうした関心の高まりが、必ずしも転職・転入の実行につながっていない実態が確認されました。

■UIターンのきっかけには明確な違いがある

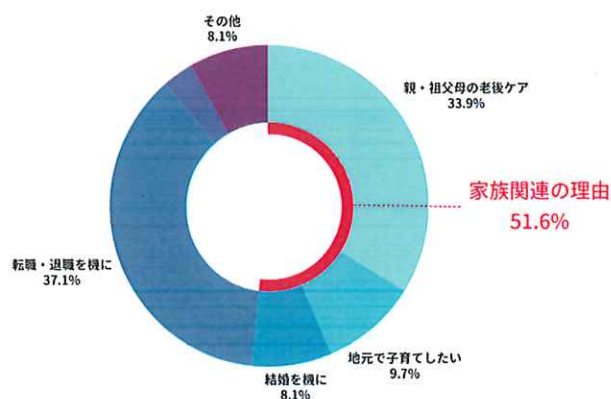
北海道へUターンした理由：Uターン編

社会環境の北上や居住地の自由化といったマクロ環境の変化は、道内企業の採用環境に直接影響するだけでなく、転職希望者一人ひとりの意思決定にも作用している。本章では、この社会環境のもとで転職希望者が何を求めて移住したのか、UターンとIターンに分けて考察する。

Uターン理由

Uターン理由で多いのは家族関連の理由で、51.6%にも上る。「いつか北海道へ帰りたい」という想いを元々持っており、親の老後ケアや結婚・子育てといったライフステージの変化が決断するきっかけになっている。

コロナ禍で帰省がなかなかできない状況も相まって、北海道へ戻りたくなったという事例もある。



出典：リージョナルキャリア北海道転職支援実績データ(2022年～2024年)、対象：Uターン転職者(n=62)

30代からのUターン転職は
REGIONAL CAREER 北海道

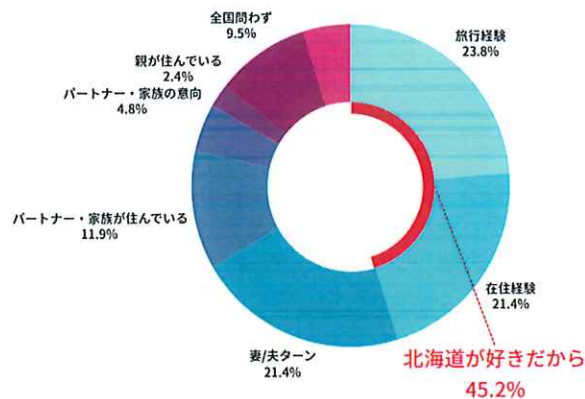
北海道へUターンした理由：Iターン編

Iターン理由

Iターン理由で多いのは「北海道が好きだから」という理由で45.2%にも上り、家族関連の理由（40.5%）よりも多い。

例えば、千葉県在住の50代の男性は単身赴任で札幌に一年間住んでいた。その期間に家族も何度か札幌を訪れており、家族全員で札幌が好きになって移住を決めた。

また、少数ながら北海道にやりたい仕事があってIターンした人もいた。例えば、30代の男性は食品業界での製造や物流の経験、食に強い北海道で活かしたいと思い、移住を決めた。



出典：リージョナルキャリア北海道転職支援実績データ（2022年～2024年）、対象：Iターン転職者（n=42）

30代からのUターン転職は
REGIONAL CAREER 北海道

調査データからは、UターンとIターンで、転職を考え始めるきっかけに違いが見られました。

Uターンでは、親の介護や家族の事情、子育てといったライフイベントを背景に検討が始まるケースが多く見られます。

一方、Iターンでは、「北海道が好き」「北海道で暮らしたい」といった地域や暮らしへの志向が、きっかけとなるケースが多くなっています。

■ 白書データから見えてきた事実

今回の集計では、北海道へのUターン転職者のうち、

- ・ 43.0%が40代以上
- ・ 38.1%が前職年収700万円以上

という結果が明らかになりました。

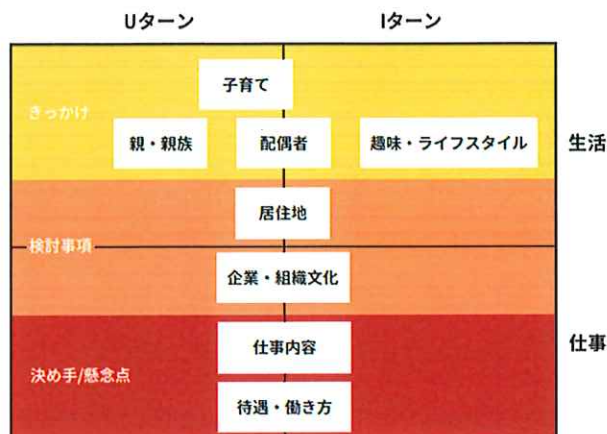
これらの数字は、キャリアの選択肢を持つ層にも広がり始めていることを示しています。

■面接だけでは決まらない転職の判断

40代・ハイキャリア層のUIターン転職が増える中で、転職の判断が面接の場だけで完結していない実態も確認されました。

本章の概要：北海道へのUIターンの決め手は何か

1章では「UIターンを望む人が多いにもかかわらず、実際に移住・転職に踏み切れない人が多い」という現状を確認した。
本章では、実際に北海道へUIターン転職をした人や、最終的に踏み切れなかった人の事例を取り上げ、**UIターン意思決定の四象限がどのように影響したのか**を具体的に示す。



30代からのUIターン転職は
REGIONAL CAREER 北海道

多くのUIターン希望者は、転職後の働く姿を具体的に想像できるか、家族の生活が成り立つか、キャリアが分断されないかといった点を、企業との情報接触や対話、役割提示を含めた「採用プロセス全体」の中で慎重に判断しています。

▼UIターン白書ダウンロードはこちら



【<https://www.regions.co.jp/job/download/hokkaido-ui-whitepaper2025/>】

■UI ターン白書 2025 リリース記念セミナー

採用の勝敗は、どこで決まるのか。

UI ターン転職者の意思決定から学ぶ、選ばれる企業の条件

本白書で明らかになった UI ターン転職の実態と意思決定の構造をもとに、
UI ターン人材に選ばれる企業の条件を、データと実例からひも解きます。



【スピーカー】

エコモット株式会社

代表取締役 入澤 拓也 氏



【スピーカー】

リージョンス株式会社

代表取締役 高岡 幸生



【ファシリテーター】

働き方評論家

千葉商科大学准教授

常見陽平氏

■プログラム（予定）

- ・第一部：UI ターン白書 2025 のデータと現場事例から、UI ターン転職の意思決定構造を解説
- ・第二部：UI ターン採用を実践してきた経営者による対談
- ・第三部：UI ターン転職者本人が語る、入社を決めた瞬間と意思決定のリアル（座談会）

■開催概要

タイトル	採用の勝敗は、どこで決まるのか。 UI ターン転職者の意思決定から学ぶ、選ばれる企業の条件
日時	2026 年 3 月 17 日（火）
会場	カナモトホール第 1 会議室（札幌市中央区北 1 条西 1 丁目）
参加費	無料

■取材・参加について

本イベントは、メディア関係者の方のご参加・ご取材も歓迎しています。

- ・白書データの詳細解説
- ・UI ターン転職者本人への取材
- ・経営者による UI ターン採用の実例取材 など個別調整も可能です。

▼参加申し込みはこちら



【<https://forms.gle/8qVdGBRZLDRYCdDeA>】

《お問い合わせ先》

リージョンズ株式会社 UI ターン白書 取材窓口（広報担当）

森川 麻美

E-mail：morikawa@regions.co.jp

TEL：050-8882-5859